

2021 年度 事業報告書

自 2021 年 4 月 1 日
至 2022 年 3 月 31 日

東京都中央区築地 3 丁目 11 番 6 号
(一財) 日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)

I. 会員登録状況

1. ライセンス会員数

		2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	2021 年度計画	前年比	達成率
会員数	競技会員	14,555	14,019	12,503	13,449	13,400	107.6%	100.4%
	エンジョイ会員	2,756	2,398	1,491	1,860	1,500	124.7%	124.0%

2. 各種目のライセンス発行枚数

1) ロードレース **5,191 枚** (昨年 4,758 枚) 前年対比 **109%**

種目	区分	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	前年比
ロードレース	国際	873	831	830	782	816	104%
	国内	3,418	3,301	3,236	2,904	3,128	108%
	フルツマン	1,222	1,238	1,172	1,015	1,187	117%
	ジュニア	42	61	64	57	60	105%
	計	5,555	5,431	5,302	4,758	5,191	109%

2) モトクロス **1,429 枚** (昨年 1,309 枚) 前年対比 **114%**

種目	区分	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	前年比
モトクロス	国際 A 級	155	137	139	137	151	110%
	国際 B 級	350	298	291	244	250	102%
	国内 A 級	238	210	201	173	187	108%
	国内 B 級	534	514	479	446	507	114%
	ジュニア	347	325	272	253	268	106%
	PC	41	65	56	56	66	118%
	計	1,665	1,549	1,438	1,309	1,492	114%

3) トライアル **1,369 枚** (昨年 1,285 枚) 前年対比 **107%**

種目	区分	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	前年比
トライアル	国際 A 級	149	145	145	135	146	108%
	国際 B 級	380	363	382	336	353	105%
	国内 A 級	312	278	287	266	256	96%
	国内 B 級	584	633	614	537	602	112%
	ジュニア	11	14	9	11	12	109%
	計	1,436	1,433	1,437	1,285	1,369	107%

4) スノーモビル **90 枚** (前年 67 枚) 前年対比 **134%**

種目	区分	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	前年比
スノーモビル	A 級	66	56	45	20	41	205%
	B 級	58	56	51	36	40	111%
	ジュニア	9	17	14	11	9	82%
	計	133	129	110	67	90	134%

5) スーパーモト **298 枚** (前年 269 枚) 前年対比 **111%**

種目	区分	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	前年比
スーパーモト	A 級	217	182	196	173	193	112%
	B 級	130	131	113	96	105	109%
	計	347	313	309	269	298	111%

6) インデューロ **596 枚**(前年 529 枚)前年対比 **113%** (2018 年度より 4 クラス制)

種目	区分	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	前年比
インデューロ	国際 A 級	EI : 151	53	59	65	71	109%
	国際 B 級		101	100	91	92	101%
	国内 A 級	EN : 382	50	51	54	61	113%
	国内 B 級		322	340	319	372	117%
	計	533	526	550	529	596	113%

7) ピットクルー **7,180 枚** (前年 6,669 枚) 前年対比 **108%**

種目	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	前年比
ピットクルー	8,170	7,927	7,553	6,669	7,180	108%

8) 競技役員 **3,898 枚** (前年 3,861 枚) 前年対比 **101%**

種目	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	前年比
役員・講師	4,328	4,282	4,238	3,861	3,898	101%

9) エンジョイ **1,860 枚** (前年 1,491 枚) 前年対比 **125%**

種目	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	前年比
エンジョイ	2,756	2,756	2,398	1,491	1,860	125%

3. 賛助会員

	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	前年比
法人会員	55 件	60 件	53 件 (55 口)	56 件	102%

4. 年間プレス登録者

	ランク	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	前年比
プレス	A	79	81	83	75	90%
	B	25	19	18	18	100%
	合計	104	100	101	93	98%

II. 新型コロナウイルス感染症への対応

1. 啓蒙/通達

●主催者向け (2021 年) (MFJ ホームページにて公示)

2021 年 1 月 東京・千葉・神奈川への緊急事態宣言発令に伴う注意事項

2021 年 1 月 緊急事態宣言発令地域拡大に伴う注意事項

2022 年 2 月 新型コロナウイルス感染防止対策に係わるお願い

●選手・エントラント・観客向け

2021 年 3 月 各大会における新型コロナウイルス感染防止へのご協力について

2021 年 4 月 全日本 TR/ED/SM 観戦にご来場のお客様への感染防止対策への協力願い

2021 年 4 月 全日本スーパーモト参加者に向け感染防止対策への協力願い

2021 年 6 月 中止大会の公認料返金について ※その他の種目は主催者の感染防止指導に従う

2022 年 2 月 感染防止に関する参加時の遵守事項

2. 感染防止対策

1) 開催時ガイドライン

昨年公示した MFJ の大会開催時のガイドラインを継続

2) 大会時対応

- ・ 全日本ロードレース選手権シリーズのリザルト・公式通知は全てアプリ WoWtalk にて発信し接触機会を減じたその他の種目も極力データ配信に努めた。
- ・ 全日本ロードレース選手権シリーズは事前体調確認を 구글フォームで実施、他の種目は記入用紙を HP に掲載しダウンロード し、記入したものを日別に提出
- ・ ゲートでの検温を毎日実施/適宜アルコール消毒液配置、室内は換気
- ・ 密な状況を作らない為、プリーフィング、表彰式、選手受付、車検等の手順を簡素化
- ・ エントリーが感染した場合における競技への復帰ガイドライン作成

3. 委員会

会議は基本的にリモート会議または書面審議とした。10 月より対面/リモート混成で開催

4. 事務局業務体制

東京に緊急事態宣言発令中は在宅勤務としその他は原則週 2 日出勤のシフト制とした。

Ⅲ. 今期重点施策

1. 地区組織の変更

MFJ 組織改革に伴い、2021 年 4 月 1 日より、加盟団体事務局との関係を発展的に解消し、MFJ 本部内に「広域事務局」を新たに立ち上げ、外部業務委託 3 名と日本二輪車普及安全協会からの出向者 1 名、本部担当 2 名で対応。

従前の業務内容に対し、約半数の人員削減となった上に、初めての試みと経験不足により、これまで加盟団体事務局が行ってきた通りの対応は未だ出来ていない。今年 1 年間を通じて得た知識・経験・人脈を来年の活動に反映させ、より一層の地方活性化活動に尽力する。

■ 管理体制

- ・ 責任者 隠岐直広 MFJ 事務局長
- ・ 本部担当者 寺牛 英和 スポーツ部地域組織管理課 課長
佐野 克由 スポーツ部地域組織管理課 課長
- ・ エリア担当者

エリア	担当者	
北海道・東北	山田 淳二	北海道トライアル部会長
関東・九州	坂本 浩之	日本二輪車普及安全協会出向
中部・近畿	小谷 徹	選手会長・近畿トライアル副部会長
中国・四国	池尻 和彦	モトクロス副委員長

■ 活動内容

1 月～ 3 月	旧加盟団体事務局からの引継ぎ 地区専門部会へ組織改編説明 全国 8 ブロック加盟団体事務局 部会会議
1 月～ 4 月	加盟団体保管機材の引き取り → 新保管倉庫調整・契約・移動 加盟団体契約倉庫 新倉庫との契約締結
2 月～ 5 月	地区専門部会振込口座の新規設立要請 部会宛活動支援金の振り込み 部会長へ依頼 銀行届け出印の製作
通年	エントリー受付業務の指示的サポート 希望ゼッケン受付指南
通年	シリーズランキング集計、WEB 公示 選手、主催者からの、苦情、問い合わせ対応
通年	地方選手権への現地出張 リザルト入手、MFJ 競技会 WEB 申請、報告等の問い合わせに対する指導
2 月～11 月	競技会の日程・会場変更手続きフォロー (WEB・SNS での告知：主催者支援) コロナ禍により頻発に発生
8 月	モトクロス全国大会 (地方選全国 No.1 決定戦) 主催 スポーツランド SUGO
10 月～12 月	地方選シリーズランキング集計、年間表彰者への賞典製作・発送
10 月～12 月	地区専門部会会議調整、開催・準備作業 会議進行、議事録作成
11 月～12 月	地方選特別規則、エントリーフォーム製作 来期情報の WEB 公示
12 月	トライアル GC 大会主催
1 月～ 3 月	2022 年度 MFJ 公認承認地方選手権シリーズ開催クラス設定・登録

1月	2022 年度全国競技機材配置（倉庫・レンタル AED 契約締結）
3月	2022 年度全国部会支援金（部会宛活動支援金の振り込み 部会長へ依頼 銀行届け出印の製作）
3月	広域業務委託業者との契約更新（株）小谷与商店

■支援体制

これまで各地区ごとに異なっていた部会・主催者・選手への支援を全国一律にすべく、着手。

◎地方選手権シリーズ主催者への支援

地方選手権 1 大会あたりの申請料（TR：17000 円、MX.ED：23000 円）の実質無償化。

◎地区専門部会（トライアル部会・モトクロス部会・エンデューロ部会）への支援

→部会活動費として、地方選手権 1 大会あたり、20,000 円を支払い。

◎地方選出場選手への支援

→公認クラスシリーズチャンピオンへメダル贈呈、公認クラスシリーズランキング 1 位～6 位までの選手へ認定証を授与。

→承認クラスシリーズランキング 1 位～3 位の選手へ認定証を授与。

※いずれも、成立したシリーズ・クラスを対象とする。

2022 年度 公認承認クラスの章典設定 対象者合計 7 1 1 名を設定、予算化

■今後の課題

- * 地区ごと、種目ごとの対応の全国統一促進
- * 部会活動の活性化、部会員、主催者とのコミュニケーション強化
- * 地方選運営体制の見直し提案 → MX 委員会との連携・地方活性化の為の新ビジョンの策定
- * 新規競技者獲得の施策 → ライセンス講習会のオンライン化（JKA 補助金にて本年度製作）

2. シリーズ管理組織

全日本モトクロス選手権シリーズ、全日本トライアル選手権シリーズのシリーズ管理を『株式会社モトスポーツプロモーション』に業務委託。また、従前に加盟団体が主催していた大会は施設主催もしくは MFJ 主催に移行した。

●MSP への主な業務委託内容

- ① 全日本 MX/TR の全戦エントリー窓口（WEB エントリー）リスト作成/入金処理/問い合わせ窓口
- ② 全日本 MX/TR のファンサイト製作/運営 SNS 発信含む
- ④ 全日本モトクロス自動計測/ライブリザルト
- ③ 全日本 MX/TR の E-チケット販売
- ④ 全大会へ事務局員派遣（選手受付補助・機材管理・パドック配置補助、スポンサー露出等）
- ⑤ MFJ 主催大会の事務局業務全般
（開催施設との交渉、競技運営組織構築、備品・宿泊・飲食手配/後援依頼、行政届け出等）
- ⑥ 全日本 MX 派遣要員の管理
【派遣要員】レースディレクター/レースアドバイザー/テクニカルオフィサー/コースビルダー/解説者

3. 露出の拡大

1) MFJ オフィシャルホームページのリニューアル

- ・ 4 月より全面リニューアル、コンテンツを整理し、ビジュアル面を改善した。
- ・ スマートフォン対応とした。
- ・ SNS による情報発信を強化した。
- ・ 各種目のファンサイトとリンク（JMX/JTR は新規）

2) 動画配信の強化

●全日本ロードレース/モトクロス（全大会 Youtube ライブ動画配信）GMP 社制作

- ・ 従来のクラス毎の配信ではなく、第 1 レース開始から終了までの連続配信とし、スタジオを設け MC が進行する番組的構成とした。
- ・ グリッド紹介/レース直後のインタビューなどでライダー露出を高めた。

- ・ 海外向けの英語版副チャンネルを設けた。

●チャンネル登録者 40,100 名		1 大会平均視聴回数	
		日本語版	英語版
全日本ロードレース	7 大会	190,461	10,232
全日本モトクロス	6 大会	39,504	1,387

●全日本トライアル

- ・ 全大会 Youtube で部分的に配信を行った 自然山通信制作
5 大会 62,469 回視聴 1 大会平均 12,494 回

3) 会場における観客用情報配信アプリ

- ・ 全日本ロードレース/モトクロスで全戦観客用情報配信アプリ「Grooview」を導入
- ・ 複数チャンネルを選択可能（レースライブ動画/スポンサー映像/主催者 PR/ライブリザルト等）
- ・ タイムスケジュール/場内マップ/選手プロフィールなどテキストデータを視聴できる。
※モトクロス会場では電波環境が悪く、機能を十分生かせなかった。

IV. モーターサイクルスポーツ事業

1. MFJ 公認・承認競技会（講習会含む）の都道府県別申請状況

競技会申請数は公認競技会 356 大会（前年比 93%）承認競技会 48 大会（前年比 93%）合計 404 大会であった。
コロナ禍により中止/延期の影響を受けた。

地区	公認競技会									承認競技会							合計
	RD	MX	TR	SN	SM	ED	講習会	走行会	公認計	RD	MB	MX	TR	ED	行事	承認計	
北海道	4	6	7	3	0	6	11	2	39	0	1	0	0	0	0	1	40
東北	5	9	8	2	1	4	16	0	45	1	4	0	0	0	0	5	50
関東	11	10	9	0	1	0	37	4	72	10	2	0	2	3	1	18	90
中部	9	6	10	0	1	6	18	1	51	8	1	0	4	0	0	13	64
近畿	0	8	9	0	1	0	8	0	26	0	3	0	0	0	0	3	29
中国	8	9	11	0	1	4	12	0	45	0	0	0	1	1	0	2	47
四国	0	7	6	0	0	0	9	0	22	0	0	0	1	0	0	1	23
九州	9	8	9	0	1	6	23	0	56	5	0	0	0	0	0	5	61
2021年	46	63	69	5	6	26	134	7	356	24	11	0	8	4	1	48	404
2020年	44	61	91	5	9	25	146	3	384	23	9	4	15	1	1	53	437
前年比	105%	103%	76%	100%	67%	104%	92%	233%	93%	104%	122%	0%	53%	400%	100%	91%	92%

2. 競技会開催状況

1) ロードレース

(1) 世界選手権/特別競技会

（世界選手権はスポーツ庁・観光庁後援事業）

開催日	格式	大会名	会場
7月15日～18日 →11月5日～7日へ延期→中止	世界耐久選手権	鈴鹿8時間耐久レース 43回大会	鈴鹿サーキット
10月1日～3日 → 中止	世界選手権	M o t o G P 日本グランプリ	ツインリンクもてぎ

(2) 全日本選手権

文部科学大臣杯は中須賀克行選手(JSB1000 ャンピオン)が獲得。全戦スポーツ庁・観光庁後援事業 ・全戦F I M公認国際競技会

日程		開催日	観客数	総参加	全日本				MFJ カップ
					JSB	ST1000	ST600	GP3	
第 1 戦	もてぎ	4 月 3 日 - 4 日	13,000	140	18	37	32	26	27

第2戦	鈴鹿2 & 4	4月24日-25日	16,500	67	67				
第3戦	SUGO	5月21-23日	6,100	117	13	20	29	26	29
第4戦	筑波	6月18-20日	3,000	123		26	32	33	32
第5戦	鈴鹿 MFJ-GP	7月17-18日	10,500	181	30	41	40	39	31
第6戦	岡山国際	9月4-5日	4,700	155	15	32	35	25	48
第7戦	オートポリス	9月17-19日	7,200	123	20	31	35	21	16
合計			61,000	906	163	187	203	170	183
平均			8,714	129	27	31	34	28	31
前年平均			12,375	140	21	28	39	25	26
前年対比			70%	92%	129%	111%	87%	113%	117%

※鈴鹿 MFJGP は当初 11 月 7 日に開催予定であったが鈴鹿 8 耐の延期日程と入れ替え 7 月に開催した。

(3) 地方選手権（ナショナル・インター）・承認ロード競技会（11 月末現在）

地区	地方選手権					承認競技会				
	申請数	開催数	参加台数			申請数	開催数	参加人数		
			総台数	平均	前年比			総人数	平均	前年比
十勝	4	4	109	27	104%	4	4	81	20	127%
SUGO	4	4	151	38	72%	5	5	329	66	103%
筑波	4	4	282	58	95%	10	10	1325	133	99%
もてぎ	4	4	319	80	72%	8	8	913	114	74%
鈴鹿	6	4	680	136	81%	14	11	1271	116	86%
岡山	7	7	284	47	87%	10	10	400	40	114%
九州	8	8	158	20	71%	17	16	741	46	140%
2021 合計	43	41	2101	64		68	64	5060	79	
2020 合計	35	23	1529	67		61	43	3012	70	
前年比		178%	137%	96%		111%	149%	168%	113%	

2) モトクロス

(1) 全日本選手権（MFJGP はスポーツ庁・観光庁後援事業）今シーズンより大同工業のシリーズ冠協賛をいただいた。

日程			観客数	総参加	国際 A 級		IB	LMX	併催			
					IA-1	IA-2	Open		CX	J 85	J 65	2 st
1	HSR 九州	4/10-11 日	2,531	193	24	43	66	29	9	22		
2	関東	5月15-16日	4,000	243	24	41	60	33	18	44	23	
3	SUGO	6月 5- 6 日	3,500	227	27	46	55	28	9	35		27
4	名阪	9月11-12日	中止									
5	HSR 九州	10月9-10日	2,100	179	22	44	53	23	12	25		
6	MFJGPSUGO	10月23-24日	4,100	230	29	44	67	29	17	44		
7	中国	11月27-28日	2,185	225	27	44	66	31	21	36		
合計			18,416	1,297	153	262	367	173	86	206	23	27
平均			3,069	216	26	44	61	29	14	34	23	27
前年			3,813	213	25	40	61	33	15	30	24	48
対比			80%	101%	102%	109%	100%	87%	96%	114%	96%	56%

※中国大会は当初 5 月に開催予定であったがコロナ感染拡大にて 11 月に日程変更し開催した。

(2) モトクロス全国大会（スポーツ庁・観光庁後援事業）

ジュニア・ノービス・国内 A 級の全国選抜大会を以下の通り開催した。

開催日：8月1日（日） 開催場所：宮城県・スポーツランド SUGO

参加数： JX：39名 ノービス（NB）：22名 ナショナル（NA）：23名

承認併催：K65：21名 CX：14名 合計：119名

(3) 地方競技会（ライセンス数は **2022年3月31日** 締め）

地区	年度	2021 地方選手権モトクロス				
		ライセンス	申請数	開催数	総参加人数	平均人数
北海道	2021 年	193	6	6	419	70
	2020 年	173	6	4	298	75
	前年比	112%	100%	150%	141%	93%
東北	2021 年	101	7	7	288	41
	2020 年	114	7	6	261	44
	前年比	89%	100%	117%	110%	93%
関東	2021 年	401	9	9	745	83
	2020 年	350	8	6	492	82
	前年比	115%	113%	150%	151%	101%
中部	2021 年	255	6	6	407	68
	2020 年	225	8	6	382	64
	前年比	113%	75%	100%	107%	106%
近畿	2021 年	166	7	3	144	48
	2020 年	144	4	3	100	33
	前年比	115%	175%	100%	144%	145%
中国	2021 年	103	8	6	249	42
	2020 年	105	8	6	282	47
	前年比	98%	100%	100%	88%	89%
四国	2021 年	44	7	3	111	28
	2020 年	42	7	4	66	17
	前年比	105%	100%	75%	168%	165%
九州	2021 年	166	6	6	235	39
	2020 年	156	6	5	197	39
	前年比	106%	100%	120%	119%	100%
全体	2021 年	1,429	56	46	2,598	56
	2020 年	1,309	54	40	2,078	52
	前年比	109%	86%	62%	65%	104%

3) トライアル

(1) 世界選手権

（スポーツ庁・観光庁後援事業）

5月15日/16日 世界選手権トライアル第1戦日本グランプリをツインリンクもてぎにて開催予定であったが

コロナ禍による海外選手の渡航制限並びに物流の問題から中止となった。

(2) 全日本選手権

日程			観客数	総参加	IA-S	IA	IB	レディース	併催
(7 戦計画、5 戦開催)									
1 九州	4 月 25 日	矢岳高原トライアル場	620	85	16	21	42	6	
2 関東	5 月 30 日	ツインリンクもてぎ	3,300	129	18	33	68	8	2
3 北海道	8 月 22 日	わっさむサーキット	中止						
4 中国	9 月 5 日	原滝山トライアルパーク	中止						
5 近畿	10 月 10 日	湯浅トライアルパーク	中止						
6 東北	10 月 31 日	スポーツランド SUGO	1,100	115	18	27	62	7	1
7 中部	11 月 13 日	キョウセイトライバーランド	800	109	18	30	51	10	
8 中部	11 月 14 日	キョウセイトライバーランド	1,500	132	18	33	71	10	

	合計	7,320	570	88	144	294	41	3
	平均	1,464	114	18	29	59	8	2
	前年平均	1,300	103	18	25	52	7	2
	前年対比	113%	111%	98%	115%	113%	117%	75%

(3) トライアルグランドチャンピオン大会

地方選手権国内日本一決定戦の全国大会を 12 月 12 日に中部・キョウセイドライバーランドにて開催。

参加：100 名（GC クラス 93 名、レディース 5 名、Over50 クラス 2 名 IB 地区対抗 6 チーム

(4) 地方選手権（ライセンス数は 2022 年 3 月 31 日締め）

地区	年度	2021 年地方選手権トライアル				
		ライセンス	申請数	開催数	総参加	平均台数
北海道	2021 年	39	6	4	88	22
	2020 年	32	6	4	95	24
	前年比	122%	100%	100%	93%	92%
東北	2021 年	113	7	7	411	59
	2020 年	126	7	7	453	65
	前年比	90%	100%	100%	91%	91%
関東	2021 年	393	8	7	727	104
	2020 年	365	9	5	486	97
	前年比	108%	89%	140%	150%	107%
中部	2021 年	261	9	8	697	87
	2020 年	235	9	9	760	84
	前年比	111%	100%	89%	92%	104%
近畿	2021 年	209	8	8	405	58
	2020 年	194	6	5	299	60
	前年比	108%	133%	160%	135%	97%
中国	2021 年	142	10	9	343	58
	2020 年	140	10	6	401	67
	前年比	101%	100%	150%	86%	87%
四国	2021 年	56	6	4	116	29
	2020 年	61	8	4	133	33
	前年比	92%	75%	100%	87%	88%
九州	2021 年	156	8	7	443	63
	2020 年	132	6	6	351	59
	前年比	118%	133%	117%	126%	107%
全体	2021 年	1,369	62	54	3,230	60
	2020 年	1,285	61	44	3,064	70
	前年比	107%	102%	123%	105%	86%

4) スノーモビル

2021 シリーズは新型コロナウイルス感染の再拡大に伴い全戦中止となった。

5) スーパーモト

(1) 全日本選手権

日程（全 6 戦 中止 1 大会）			観客数	総参加	S1 PRO	S 1 OPEN	S 2	併催
第 1 戦	茂原ツインサーキット	4/3～4 日	400	53	17	13	10	13
第 2 戦	HSR 九州	6/15～16 日	375	51	15	15	12	9
第 3 戦	世羅グリーンパーク弘楽園	7/10～11 日	200	60	16	21	12	11

第4戦	スポーツランド SUGO	8/14～15日	700	75	19	20	11	25
第5戦	名阪スポーツランド	9/18～19日	中止					
第6戦	美浜サーキット	10/30～31日	400	85	19	27	16	23
合計			2,075	324	86	96	61	81
1大会平均			415	65	17	19	12	16
前年平均			1,220	66	18	22	9	17
前年対比			34%	98%	96%	87%	136%	95%

6) インデューロ

日程（全４戦）			総参加 人数	全日本					承認
				インターナショナル		ナショナル			
				A	B	NA	NB	W	
第１戦	テージアスランチ（広島）	３月 28 日	137	26	35	18	44	2	12
第２戦	いなべ（三重）	５月 29～30 日	125	24	29	20	43	3	6
第３戦	ビッグベア・ルスツ（北海道）	９月 18～19 日	121	19	28	17	43	1	13
第４戦	スポーツランド SUGO(宮城)	11月 20～21 日	128	27	27	13	48	3	10
		合計	511	96	119	68	178	9	41
		1 大会平均	128	24	30	17	45	2	10
		前年平均	124	23	24	15	42	2	17
		前年対比	103%	104%	124%	113%	106%	113%	60%

3. 代表選手派遣事業

新型コロナウイルス感染拡大による渡航制限並びに物流の問題から以下大会への日本代表チームの選抜を休止した。

- 1) モトクロス・ワールド・ネイションズ（国別対抗世界選手権）
- 2) トライアル・デ・ナシオン（国別対抗世界選手権）
- 3) ISDE(インデューロ国別対抗世界選手権)

4. 2021MFJ Moto Awards(全日本選手権ランキング表彰式典)

全日本ランキング表彰式典を2021年12月18日（土）にオンライン形式にて開催。

5. 2021年MFJモーターサイクルスポーツ殿堂

殿堂評議会にて本年はモトクロス部門の黎明期を対象とすることとなり、以下4名が選出し授与式を開催した。

授与式の模様は映像収録し、Moto Awards 動画配信で放映

顕彰者： 久保和夫 吉村太一 山本隆 鈴木忠男

顕彰式： 開催日：11月30日（火） 開催場所： 大手町、KKRホテル

V. 補助金事業

1. （公財）JKAオートレース

国内競技規則書（WEB版 2022年版） 交付申請額：3,373,000円

交付確定額：3,373,000円

VI. モーターサイクルスポーツの普及振興

1. 普及強化事業

1) MFJロードレースアカデミー in MOTEGI 2021 (16 期目)

ロードレースにおける年少者育成を目的とし以下のように開催した。

主催：(一財)日本モーターサイクルスポーツ協会

会場：栃木県・ツインリンクもてぎ。 期間：2021 年 4 月～9 月 年間 10 日間

校長：坂田和人 講師：小林龍太 他トップライダー起用

年間参加(18 歳以下) 使用車両：CBR250R/CBR150R

受講者：150 cc：7 名 250 cc：4 名

【新クラス設定】若手ライダーの練習の場を提供する目的

- ・R クラス(アカデミー卒業生対象)本コース使用 延べ 5 名参加
- ・S クラス(アカデミー卒業生対象)本コース以外で自主練習 延べ 6 名参加
- ・E クラス(8～11 歳のポケバイレース経験者)体験スクール 延べ 8 名参加

※150 cc車両は今期より新規車両 10 台を使用予定であったが、アカデミーの受講者の体格ならびに講習内容では旧型車両が適切と判断し、新型車両は講師用等一部使用とし、旧型車両で継続することになった。尚、新型両 5 台は(株)チームマリに貸与し、女性のサーキット体験走行に活用した。

2) MFJ 親子バイク祭り(10 年目)

小学生以下を対象としたバイク乗車体験のスクール、ポケバイ・ミニバイクレースとの連携を目的に以下イベントを開催予定であったがいずれもコロナ禍により中止となった。

3) につぼん応援ツーリング

(一社)日本ライダーズフォーラムと協力し被災地支援並びに疲弊した観光産業応援の社会貢献活動として以下を開催

イベント名称：につぼん応援ツーリング

主催：(一社)日本ライダーズフォーラム/(一財)日本モーターサイクルスポーツ協会

公認：国際モーターサイクリズム連盟(FIM)

開催期間：2021 年 5 月 1 日～10 月 31 日

内容：日本本土 4 極エリア(北海道・本州・四国・九州) 4 極、各地域応援スポット
各観光応援スポットに訪れた際の獲得ポイントを設け SNS で登録するゲーム性のあるツーリングイベント

参加：総参加人数:477 名(男性 421 名:90%、女性 46 名:10%)

4) モト・ジムカーナ

ジムカーナ統轄団体(JAGE)と共催で開催を予定したがコロナ禍により今期の開催を見送った。

5) 2021 CITY TRIAL JAPAN in OSAKA

本年は大阪府、泉南ロングパークにて開催準備を進めていたが、コロナ禍により中止となった。

2. 安全・環境・健康に関する活動

1) ドーピングコントロール

本年は JADA 方針の為、実施しないこととなった。

2) サーキットアドバイザーへの補助

各サーキットのスクール・イベント時安全面の指導を行うサーキットアドバイザー制度促進の為、補助を行った。

3) インストラクターセミナー開催

コロナ感染状況により開催を控えた。

4) セーフティオフィサー・レースアドバイザーの派遣

全日本選手権の運営均一化、安全向上を目的に全戦をラウンドする役員を派遣した。

●ロードレース

- ・ セーフティオフィサー2 名派遣。競技監督とレースディレクションを構成し、コースの状況、運営について協議し執行
- ・ テクニカルアドバイザー1 名派遣。

●モトクロス

- ・ シリーズ管理組織を通じてレースディレクター、レースアドバイザー、テクニカルオフィサー、コースビルダー4 名派遣
- ・ レースディレクターは競技監督とレースディレクションを構成し運営を指揮し、全戦統一水準での競技会運営と安全対策に尽力した。

5) メディカル部会活動

- ・ 競技会開催時のコロナ対策や感染後の競技復帰ガイドライン健康申告書等へのアドバイス等を行った。

6) モトクロス安全対策

- ・ モトクロス運営統一の為、作業部会を実施。
- ・ 選手に対する安全意識とマナー向上の指導、サーキットに対するコース安全性のチェックと改善指導、適正な運営に対する助言を主眼とし、レースディレクターら4 名を派遣
- ・ 違反行為や事故発生時の検証補助、さらに選手への違反・危険行為防止効果を目的とする動画を撮影し判断材料としている。

7) 観客安全対策

- ・ モトクロス競技安全対策の指針に基づき観客安全対策を各主催者に啓蒙
- ・ インデューロ主催者にコーステープの安価供給継続

8) 安全装備の研究

- ・ ロードレース 18 歳以下のエアバッグ式プロテクション義務化を実施。義務化拡大について検討
- ・ レーシングスーツのプロテクションは 2021 年より脊髄／チェストパッドは CE 規格義務付けを告知。その他肘膝パッドは 2022 年規格より公認時に CE 規格品であることとした。

9) セーフティ委員会活動

- ・ 重大事故発生時に再発防止対策を検討。今期は調査なし。
- ・ メディカルパスポート提示義務について各専門委員会に提案

3. 情報発信活動

1) オフィシャルホームページ

- 2021 年 3 月中旬にホームページをリニューアルしサイト構造をスマートフォン向けにシフトした。
アクセス解析では、モバイル端末での閲覧割合は従来の 5 割から約 7 割程度にアップし、アクセス数も向上した。
- 2021 年 4 月 1 日より 11 月までに、2,586,381PV/月平均 323,298PV（昨年 253,428PV）のアクセスを得た。
- 昨年まで加盟団体 HP に掲載していた地方選手権の情報を本サイトに集約し提供を開始した。
- 全日本ロードレースファンサイトとの情報連携を強化した。掲載情報の棲み分けを引き続き行う。
- 全日本モトクロス/トライアルオフィシャルファンサイトをモトスポーツプロモーション(MSP)にて新たに立ち上げ電子チケット販売をはじめ観戦者向けの情報提供を行った。
- 全日本スーパーモト(SMJ)、全日本インデューロ(JEC) プロモーションサイトと相互リンクによる情報提供。
- 規則書を WEB 化しサイトを公開。（2022 年度スノーモビル規則を 11 月に先行公開し、12 月末に全種目公開予定。）
- 広告協賛を募り、本サイトと規則書 WEB サイトの双方にご協賛各社様のロゴやバナーを掲載。
- SNS による迅速な情報発信のため、MFJ 公式 Facebook、Twitter との自動連携を強化した。

2) メールでの情報発信をライセンス会員向けに種目毎情報を適宜配信。

- 3) 2021年3月の大阪/東京モーターサイクルショーでMFJブースを設けPR活動を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大によりショー自体の中止が決定した。
- 4) 全日本観戦者向けフリーペーパー「ライディングリミテッド」は休止し、観戦情報をファンサイトに集約。
- 5) 2021レースポスターカレンダーを作成し、ネットワークショップおよび二輪用品量販店を中心に配布した。
- 6) 広報部会
メディア向け主要競技会ごとに2回ずつ告知依頼と取材依頼のプレスリリース発信。
- 7) プロモーション事業
以下項目について(株)トモウェルプロモーションと業務委託契約を結び活動を実施。
 - (1) 映像製作/露出(GMP社)
 - ① 全日本ロードレース・モトクロス全戦を収録しBS12にてダイジェスト放映
(毎月末土曜 21:30~22:00)
 - ② Web動画配信「Webロックオン」と「You Tube Live」にて全日本ロードのライブ動画配信(配信後アーカイブ)
全日本モトクロス全大会配信
今期より、レース開始から終了まで連続する番組的構成、スタジオMCによる進行、スタート前、ゴール後のインタビュー、英語版副チャンネル等内容をアップグレード、期の途中から要免許電波帯を使用し配信を安定化させた。
※youtubeのチャンネル登録は4万人を超えた。
 - (2) オフィシャルホームページ等広報(YUP社)
 - ① 専用ホームページ Superbike.jpにて事前告知を中心に展開するとともに一般向け並びにプレス向けのメルマガの配信を行った。※3月~11月の訪問者数 **1,326,724** 件(昨年 1,154,813 件 3月~11月)と増加。
 - ② 2021年3月東京モーターサイクルショーにて次年度全日本選手権PRの為、モーターサイクルスポーツPRコーナーを設け大画面でのレース映像とレーシングマシン展示、中央ステージでのライダートークショー等を計画したが新型コロナウイルス感染拡大でショー自体が中止となり実施せず。
 - (3) ファンクラブの運営(ライディングハート社)
全日本ロードレース選手権オフィシャルファンクラブ「Superbike Supporters」会員を募集したがコロナ禍により開催数が不透明なことから募集を休止した。
 - (4) MFJ会員へのメリット供与
 - ・ 協力企業とのアライアンスによる会員メリットの提供
キズキレンタルサービス、ルートインホテルズ、ZuttoRide、パークアップ(用品通販)ビッグカメラ、たびのび

VII. 地方組織

地区組織の変更

- 1) 日本二普協と加盟団体業務委託を終了し、4月より広域事務局に機能を移管した。

・ 加盟団体解散決議/残余財産処分決議	2月~3月に全地区完了
・ 事務局引継ぎ/備品確認	2月~3月に全地区完了
・ 地区専門部会説明会	2020年12月~翌3月に全地区完了
・ 保管書類移管	全地区完了
・ 備品管理	全地区完了
・ 残余財産	7月~9月に全地区完了

VIII. 国際交流

世界に新型コロナ感染が続いていることから以下のようリモート会議に参加した。

- | | |
|-----|---------------------------|
| 4月 | FIM アジアウェブミーティングに参加 |
| 5月 | FIM ウェブ環境セミナーに参加 |
| 9月 | FIM ウェブツーリングセミナーに参加 |
| 10月 | FIM アジアウェブミーティングに参加 |
| 11月 | FIM アジアボードミーティングにオブザーバー参加 |

1 2 月 FIM ウェブ総会参加
 2022 年 1 月 FIM アジア総会にウェブ参加
 2022 年 3 月 FIM 車両インスペクション（CBR600RR）を実施。

IX. スポーツ安全保険等

1. スポーツ安全協会の『スポーツ安全保険』登録業務並びに競技会での受傷者への手続きを行った。

2021 年度 2021 年 04 月 01 日～2022 年 3 月 31 日

VII. スポーツ安全保険									
種目	区分※	事故通知				保険請求			
		A1	C	B	計	A1	C	B	計
ロードレース	国際		19		19		17		17
	国内		31		31		33		33
	フレッシュマン		12		12		10		10
	ジュニア	1			1	1			1
	計	1	62		63	1	60		61
モトクロス	国際 A 級		9		9		10		10
	国際 B 級		8		8		7		7
	国内 A 級		8		8		8		8
	国内 B 級		9		9		10		10
	ジュニア	6			6	5			5
	P C								
	計	6	34		40	5	35		40
トライアル	国際 A 級		2		2		1		1
	国際 B 級		2		2		2		2
	国内 A 級		1		1		2		2
	国内 B 級		1		1		1		1
	ジュニア								
	計		6		6		6		6
スノーモビル	S A								
	S B								
	S J								
	計								
エンデューロ*	国際 A 級		1		1		2		2
	国際 B 級		1		1				
	国内 A 級		2		2		1		1
	国内 B 級		5		5		4		4
	計		9		9		7		7
スーパーモト	A		5		5		4		4
	B		1		1		1		1
	計		6		6		5		5
ビットクルー			2		2		1		1
エンジョイ			8		8		7		7
競技役員									
2021 年度		7	127		134	6	121		127
前年比（以下四捨五入）		44%	151%	—	133%	43%	159%	—	140%
2020 年度		16	84	1	101	14	76	1	91
2019 年度		7	158	1	166	11	136	0	147
2018 年度（参考）		19	170	1	190	18	154	1	173

2017 年度（参考）	16	194	3	213	14	167	3	184
-------------	----	-----	---	-----	----	-----	---	-----

※スポーツ安全保険の加入区分 **A1**…中学生以下、**C**…中学卒業以上～64 歳以下、**B**…65 歳以上

*エンデューロの区分について…2017 年度までは国内・国際の 2 クラス編成

2018 年度より国際 A 級、国際 B 級、国内 A 級、国内 B 級の 4 クラス編成

*P(ピットクルー)の件数について…ピット作業中と承認競技中の合算

X. 諸会議の開催（2021 年 4 月～2022 年 3 月末）

諸会議					
4 月	27 日	メーカー販社・MFJ 会議の準備委員会	11 月	1 日	ロードレース委員会①
5 月				2 日	TR 作業部会
6 月	3 日	運営財務委員会		4 日	ロードレース委員会②
	8 日	メーカー販社・MFJ 会議		5 日	普及対策部会販売店視察
	10 日	理事会（書面審議）		10 日	スーパーモト委員会
	25 日	評議員会（書面審議）		11 日	モトクロス委員会①
	25 日	競技用装備部会①		12 日	モトクロス委員会②
	28 日	競技用装備部会②		15 日	中央スポーツ委員会・作業部会（リモート）
7 月	18 日	MFJ 普及対策部会（鈴鹿）		16 日	技術委員会（リモート）
	27 日	モトクロス委員会（リモート）		18 日	トライアル委員会
	30 日	国内規律裁定委員会	12 月	2 日	エンデューロ委員会（リモート）
8 月	2 日	スーパーモト委員会（リモート）		10 日	運営財務委員会
	4 日	エンデューロ委員会		17 日	理事会（ハイブリッド）
	25 日	ロードレース委員会／施設・ART（リモート）	1 月	28 日	競技用装備部会（ハイブリッド）
	26 日	ロードレース委員会／地区・委員・メーカー（リモート）	2 月	10 日	ロードレースセミナー（ハイブリッド）
	29 日	メディカル部会（面着＋リモート）		15 日	タイヤ入札委員会（ハイブリッド）
9 月	22 日	殿堂評議会（リモート）		17 日	カーボンニュートラル会合（リモート）
10 月	4 日	筑波・ART・MFJ 会合		18 日	トライアル委員会（リモート）
	5 日	ロードレース作業・準備委員会（リモート）		18 日	全日本 RD コロナ対策会議（リモート）
	14 日	全日本 RD 施設会議（リモート）		19 日	モトクロスセミナー（リモート）
	19 日	殿堂評議会（リモート）	3 月	3 日	RD 委員会（PR 関係）リモート
	20 日	RD 作業部会（リモート）		4 日	運営財務委員会（ハイブリッド）
	23 日	普及対策部会（SUGO）		10 日	理事会（ハイブリッド）
	29 日	ヘルメット作業部会		24 日	評議員会（ハイブリッド）

XI. その他の事業

1. ライセンス取得講習会の WEB 化

- ・ ライセンス講習会をニーズに答えて行う為、E ラーニングで取得希望者が時と場所を選ばずオンデマンドで受講可能なシステムの検討を開始（2022 年 J K A 補助金申請）・

以上

■ 2021 年度事業報告 附属明細書

2021 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2022 年 6 月

一般財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会